

令和5年度南丹市総合防災訓練に

参加してきました!!



少数精鋭で選ばれし病院スタッフいざ出動!!
(明治国際医療大学附属病院救急入口)

去る10月1日(日)、前日までの雨もやんだ早朝9時、当院の医師、看護師、事務職員合計10名で構成された「災害医療チーム」が、4年ぶりに開催された「令和5年度南丹市総合防災訓練」に参加してきました。

訓練内容は、マグニチュード7の地震が発生し、南丹市の各所で震度6弱の揺れを観測。家屋やビルの全壊半壊が多く見られ、火災も発生し、負傷者、死者、行方不明者も、時間の経過と共に増加してきた、というものでした。

当院職員は、救護所にて負傷者の手当てをする看護師と、京都中部総合医療センターさんのDMAT(災害派遣医療チーム)と協力し、病院救急車にてビルの倒壊による負傷者を救護所まで搬送する医師と看護師、事務職員の2チームに分かれ、全員が真剣なまなざしで、一つひとつ確認しながら訓練に臨みました。

当院にDMATはありませんが、今回参加した10名のメンバーが、有事の際には中心となり、DMATに準じた動きや指示ができるよう、今後も鍛錬していきたいと思えます。

自主的?強制的?は別として、とても貴重な訓練に参加されたみなさん、長時間お疲れ様でした。

DMATと、負傷者を病院救急車で搬送する準備をしている看護師と事務職員



救護所テント内で、傷病者の手当てをしている、中西医師と看護師